

# 東京で中核市「ご当地じまんフェア」

## 「じゃこピーナツ」PR

福山市

福山、倉敷市など東京都内に出先事務所を置く19の中核市が集まった「ご当地じまんフェア」が22日、東京・

有楽町のふるさと情報プラザで始まった。地域産品などを通じて土地の魅力をアピールしている。25日まで。



各市1品を持ち寄って特産品を販売。福山市は走島産のちりめんじゃこなどを使って地産地消を前面に出した「瀬戸内じゃこピーナツ」を、倉敷市は地元出身の故・大山康晴15世名人にちなんで将棋の駒をかたどった「大山名人もなか」をそれぞれ出品した。

売り手は各事務所職員が務めた。北は青森市から南は鹿児島市までお国自慢の味を訴えながら、パンフレットや地図などを配り、観光での来訪も呼び掛けた。(藤岡慎吾)

福山市が参加した中核市ご当地じまんフェア＝東京・有楽町